

【施策評価調査】

施策名	1-2-5	道路管理台帳の整備(デジタル化)と運用		74	施策目的 政策「1-2. 利便性の高い道路網の形成」を実現するために、主要幹線道路(国・県道)を補完する道路ネットワークを形成します。道路整備の必要性、効果についてわかりやすい情報開示を行い、住民との対話と情報の共有化を実現します。住民参加による道路整備・維持・管理技法を確立します。土地区画整理事業と連携して道路整備を進め、生活環境を向上させます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部都市整備課	担当	施設管理担当		
		リーダー	阿久津 靖		
環境変化	特になし				施策内容 道路管理業務の効率化を図るため、道路管理台帳のデジタル化を進めます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：道路管理台帳のデジタル化作業進捗率(%)	道路管理台帳・上水道台帳・下水道台帳データ入力	計画	42.0%	58.0%			
	0.0%	実績	0	0	0		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	0	0		
	決算	0	0	0		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
道路台帳整備事業費	当初	可道認定道路総延長		現在凍結中			
	決算	/ 422.56km		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	廃止
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価		課題と今後の方向性	
		各課で管理している台帳の一元化を図るべく協議をすすめたが、期待した成果は得られていない。		各分野で管理している台帳の一元化が理想だが、各課で温度差があり進展していない。今後、町財政の固定費(人件費)の削減や利用者の便益を図るために、費用対効果を明確にするとともに、どのレベルの情報まで取り込むのか、十分に協議しながら実現に向けて作業をすすめていきたい。しかし、協議がまとまらなければ、道路台帳のデジタル化を先行させるべきと考える。
総合評価	<input type="checkbox"/> 期待されている成果が得られておらず、積極的に展開する施策でない判断する。 どう効率化を図ることが効果的なのか、後期計画に向け、当施策のあり方、事務事業の方向性を再考すること。			